

# 2022年11月のDATASALAD 宿泊稼働指数

～全国旅行支援の効果が継続 大都市部で大幅上昇

2022年12月7日

公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部

九経調 DATASALAD (<https://datasalad.jp/>) では、景気、産業、社会に関する政府統計に加え、人流や求人等のビッグデータ・オルタナティブデータを、地域の景気や産業の動向を分析する指標として加工、可視化している。

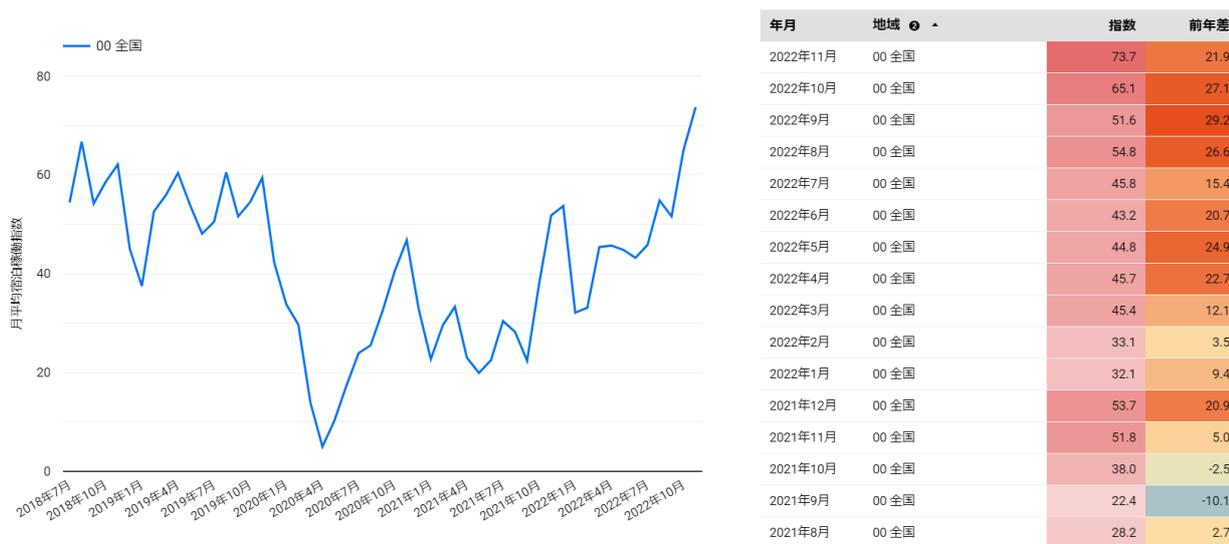
本稿では、当会が宿泊予約サイトより取得したデータをもとに算出している「宿泊稼働指数<sup>1</sup>」を活用し、2022年11月における新型コロナウイルス感染拡大による宿泊施設への影響を分析する。

## 1. 全国の宿泊稼働指数： 指数の上昇続く コロナ禍前の11月を上回る

2022年11月における全国の宿泊稼働指数は73.7 となり、前月の65.1を上回り、2カ月連続で上昇した(図1)。11月は例年、秋の観光シーズンにより指数が前月から上昇する傾向にあるが、それに加えて、前月と同様に、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いていたこと、全国旅行支援の効果によって、観光旅行の需要が喚起され、指数の上昇が続いた。

また前年差は+21.9ptであった。上昇幅は前月より小さくなったものの、大幅なプラスでの推移が続いている。また過去の11月の指数をみると、2018年は62.1、2019年は59.4であり、今年の11月はコロナ禍前の水準をも上回っている。

図1 宿泊稼働指数の推移(全国)



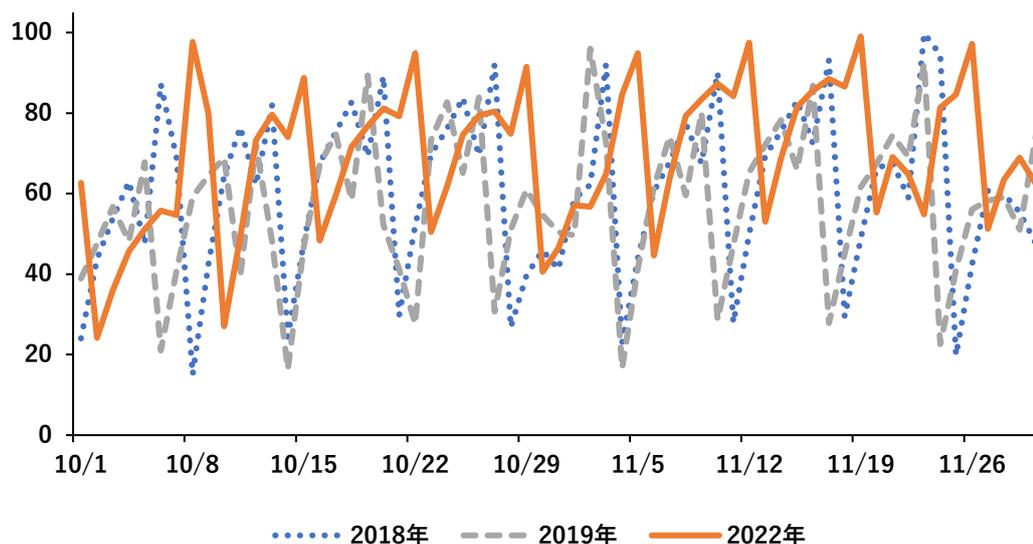
注) 2022年12月4日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

<sup>1</sup> 宿泊稼働指数は日次の空室の水準を指数化したもので、九経調が独自に推計。原数値は0から100の間の数値をとり、稼働状況が良い場合は100に、稼働状況が悪い場合は0に近づく。算出方法は「参考資料」を参照

図2は、2018・19・22年10～11月の日別宿泊稼働指数の推移を示している。全国旅行支援が開始された10/11以降は、土曜日の稼働指数が90前後で高止まりしていることに加えて、従来は低かった日・月曜日の稼働指数が60前後に上昇している。11月も、コロナ禍前は客入りが少なかった平日（特に月・火曜日などの週前半）の宿泊稼働状況が良いことが、全体の上昇に寄与している。

ただし、観光需要の急速な回復に対して、従業員不足により稼働率を抑えて営業せざるを得ない宿泊施設も存在するという報道も散見される。本指数が宿泊予約サイトの空室情報を基に算出していることから、実際の延べ宿泊者数・施設稼働率よりも上振れしている可能性に留意が必要である。

図2 10～11月の日別宿泊稼働指数の推移（全国）



注) 原数値 2022年12月4日時点の推計値

資料) 九経調 DATASALAD

## 2. 地域ブロック別の宿泊稼働指数：8地域で前月差プラス

2022年11月の宿泊稼働指数を12の地域ブロック別にみると、九州(80.9)や北関東(77.2)、中国(76.4)で高い傾向となった(表1)。

前月との比較では、8地域でプラスとなり、近畿(前月差+17.7pt)、九州(同+11.5pt)、関東(同+10.5pt)の順にプラス幅が大きかった。なお九州は5カ月連続の前月差プラスとなった。

前年との比較では、北海道を除く11地域でプラスとなり、特に南関東(前年差+37.6pt)、沖縄(同+29.7pt)、近畿(同+25.5pt)でプラス幅が大きい。

表1 地域ブロック別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2021年 11月	2022年 10月	2022年		
			11月	前年差	前月差
全国	51.8	65.1	73.7	21.9	8.6
北海道	47.4	58.1	47.2	▲0.2	▲10.9
東北	66.6	78.9	71.9	5.3	▲7.0
北関東	63.6	80.4	77.2	13.6	▲3.2
南関東	37.8	64.9	75.4	37.6	10.5
甲信越	58.2	71.9	71.4	13.2	▲0.5
東海	43.1	58.5	65.4	22.3	6.9
北陸	53.1	59.6	65.0	11.9	5.4
近畿	44.7	52.5	70.2	25.5	17.7
中国	64.0	69.6	76.4	12.4	6.8
四国	59.3	65.8	75.4	16.1	9.6
九州	59.9	69.4	80.9	21.0	11.5
沖縄	40.4	62.3	70.1	29.7	7.8

注) 2022年12月4日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表2 地域ブロック別宿泊稼働指数

< 指数順 >

年月	地域	指数 ▼	前年差
2022年11月	C010 九州	80.9	21.0
2022年11月	C0031 北関東	77.2	13.6
2022年11月	C008 中国	76.4	12.4
2022年11月	C009 四国	75.4	16.1
2022年11月	C0032 南関東	75.4	37.6
2022年11月	C002 東北	71.9	5.3
2022年11月	C004 甲信越	71.4	13.2
2022年11月	C007 近畿	70.2	25.5
2022年11月	C011 沖縄	70.1	29.7
2022年11月	C005 東海	65.4	22.3
2022年11月	C006 北陸	65.0	11.9
2022年11月	C001 北海道	47.2	-0.2

< 前年差順 >

年月	地域	指数	前年差 ▼
2022年11月	C0032 南関東	75.4	37.6
2022年11月	C011 沖縄	70.1	29.7
2022年11月	C007 近畿	70.2	25.5
2022年11月	C005 東海	65.4	22.3
2022年11月	C010 九州	80.9	21.0
2022年11月	C009 四国	75.4	16.1
2022年11月	C0031 北関東	77.2	13.6
2022年11月	C004 甲信越	71.4	13.2
2022年11月	C008 中国	76.4	12.4
2022年11月	C006 北陸	65.0	11.9
2022年11月	C002 東北	71.9	5.3
2022年11月	C001 北海道	47.2	-0.2

注) 2022年12月4日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

### 3. 都道府県別の宿泊稼働状況：大都市部での指数上昇が目立つ

2022年11月の宿泊稼働指数を47都道府県別にみると、佐賀県（93.4）や高知県（90.0）、鳥取県（87.8）、などで高水準となった（表3）。前月との比較では、34都府県で前月を上回り、京都府（前月差+23.1pt）、大阪府（同+19.3pt）、福岡県（同+17.5）で上昇幅が大きくなった。このほか、東京都（同+12.3pt）や神奈川県（同+15.3pt）も大きく上昇している。旅行・観光需要の再開が本格化したことから、宿泊施設の多い大都市部においても稼働状況が上昇に向かっている。

なお、北海道・東北地方では前月差マイナスが多いが、これは冬になり観光シーズンから外れたこと、新型コロナウイルスの人口あたり感染者数が他地域より多かったことが要因として考えられる。

表3 都道府県別宿泊稼働指数・前年差・前月差

	2021年	2022年	2022年				2021年	2022年	2022年		
	11月	10月	11月	前年差	前月差		11月	10月	11月	前年差	前月差
全国	51.8	65.1	73.7	21.9	8.6	三重県	50.2	66.2	69.8	19.6	3.6
北海道	47.4	58.1	47.2	▲0.2	▲10.9	滋賀県	59.7	69.5	84.2	24.5	14.7
青森県	74.1	86.3	76.1	2.0	▲10.2	京都府	34.7	43.4	66.5	31.8	23.1
岩手県	65.9	72.5	55.0	▲10.9	▲17.5	大阪府	42.3	54.5	73.8	31.5	19.3
宮城県	56.9	77.5	75.1	18.2	▲2.4	兵庫県	55.1	64.0	68.5	13.4	4.5
秋田県	77.3	88.0	83.5	6.2	▲4.5	奈良県	67.5	66.6	82.6	15.1	16.0
山形県	57.0	80.3	70.0	13.0	▲10.3	和歌山県	60.2	56.6	59.1	▲1.1	2.5
福島県	60.9	76.3	73.8	12.9	▲2.5	鳥取県	73.8	73.9	87.8	14.0	13.9
茨城県	61.1	76.7	77.3	16.2	0.6	島根県	80.0	75.8	83.7	3.7	7.9
栃木県	60.8	83.0	73.6	12.8	▲9.4	岡山県	60.5	74.6	75.6	15.1	1.0
群馬県	71.8	82.4	82.0	10.2	▲0.4	広島県	52.1	59.5	69.3	17.2	9.8
埼玉県	55.8	77.9	78.9	23.1	1.0	山口県	70.0	80.7	81.8	11.8	1.1
千葉県	41.1	57.2	68.2	27.1	11.0	徳島県	69.7	70.0	82.2	12.5	12.2
東京都	33.6	63.6	75.7	42.1	12.1	香川県	48.6	61.3	62.5	13.9	1.2
神奈川県	44.4	57.2	72.5	28.1	15.3	愛媛県	58.1	60.8	74.9	16.8	14.1
新潟県	58.1	67.4	60.2	2.1	▲7.2	高知県	74.9	78.3	90.0	15.1	11.7
富山県	54.8	64.0	62.0	7.2	▲2.0	福岡県	41.7	58.6	76.1	34.4	17.5
石川県	44.5	52.7	60.8	16.3	8.1	佐賀県	73.9	77.2	93.4	19.5	16.2
福井県	73.5	78.8	87.1	13.6	8.3	長崎県	71.1	76.2	87.2	16.1	11.0
山梨県	59.6	69.8	76.4	16.8	6.6	熊本県	61.0	77.1	86.8	25.8	9.7
長野県	57.6	77.0	78.2	20.6	1.2	大分県	64.6	75.7	85.3	20.7	9.6
岐阜県	60.2	70.0	68.1	7.9	▲1.9	宮崎県	81.6	78.0	75.7	▲5.9	▲2.3
静岡県	45.0	58.1	66.5	21.5	8.4	鹿児島県	76.6	78.2	83.0	6.4	4.8
愛知県	33.2	54.4	63.4	30.2	9.0	沖縄県	40.4	62.3	70.1	29.7	7.8

注) 2022年12月4日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

表4 都道府県別宿泊稼働指数ランキング

&lt; 指数順・上位 &gt;

年月	地域	指数 ↓	前年差
2022年11月	41 佐賀県	93.4	19.5
2022年11月	39 高知県	90.0	15.1
2022年11月	31 鳥取県	87.8	14.0
2022年11月	42 長崎県	87.2	16.1
2022年11月	18 福井県	87.1	13.6
2022年11月	43 熊本県	86.8	25.8
2022年11月	44 大分県	85.3	20.7
2022年11月	25 滋賀県	84.2	24.5
2022年11月	32 島根県	83.7	3.7
2022年11月	05 秋田県	83.5	6.2
2022年11月	46 鹿児島県	83.0	6.4
2022年11月	29 奈良県	82.6	15.1
2022年11月	36 徳島県	82.2	12.5
2022年11月	10 群馬県	82.0	10.2
2022年11月	35 山口県	81.8	11.8
2022年11月	11 埼玉県	78.9	23.1

&lt; 前年差順・上位 &gt;

年月	地域	指数	前年差 ↓
2022年11月	13 東京都	75.7	42.1
2022年11月	40 福岡県	76.1	34.4
2022年11月	26 京都府	66.5	31.8
2022年11月	27 大阪府	73.8	31.5
2022年11月	23 愛知県	63.4	30.2
2022年11月	47 沖縄県	70.1	29.7
2022年11月	14 神奈川県	72.5	28.1
2022年11月	12 千葉県	68.2	27.1
2022年11月	43 熊本県	86.8	25.8
2022年11月	25 滋賀県	84.2	24.5
2022年11月	11 埼玉県	78.9	23.1
2022年11月	22 静岡県	66.5	21.5
2022年11月	44 大分県	85.3	20.7
2022年11月	20 長野県	78.2	20.6
2022年11月	24 三重県	69.8	19.6
2022年11月	41 佐賀県	93.4	19.5

&lt; 指数順・下位 &gt;

年月	地域	指数 ↑	前年差
2022年11月	01 北海道	47.2	-0.2
2022年11月	03 岩手県	55.0	-10.9
2022年11月	30 和歌山県	59.1	-1.1
2022年11月	15 新潟県	60.2	2.1
2022年11月	17 石川県	60.8	16.3
2022年11月	16 富山県	62.0	7.2
2022年11月	37 香川県	62.5	13.9
2022年11月	23 愛知県	63.4	30.2
2022年11月	22 静岡県	66.5	21.5
2022年11月	26 京都府	66.5	31.8
2022年11月	21 岐阜県	68.1	7.9
2022年11月	12 千葉県	68.2	27.1
2022年11月	28 兵庫県	68.5	13.4
2022年11月	34 広島県	69.3	17.2
2022年11月	24 三重県	69.8	19.6
2022年11月	06 山形県	70.0	13.0

&lt; 前年差順・下位 &gt;

年月	地域	指数	前年差 ↑
2022年11月	03 岩手県	55.0	-10.9
2022年11月	45 宮崎県	75.7	-5.9
2022年11月	30 和歌山県	59.1	-1.1
2022年11月	01 北海道	47.2	-0.2
2022年11月	02 青森県	76.1	2.0
2022年11月	15 新潟県	60.2	2.1
2022年11月	32 島根県	83.7	3.7
2022年11月	05 秋田県	83.5	6.2
2022年11月	46 鹿児島県	83.0	6.4
2022年11月	16 富山県	62.0	7.2
2022年11月	21 岐阜県	68.1	7.9
2022年11月	10 群馬県	82.0	10.2
2022年11月	35 山口県	81.8	11.8
2022年11月	36 徳島県	82.2	12.5
2022年11月	09 栃木県	73.6	12.8
2022年11月	07 福島県	73.8	12.9

注) 2022年12月4日時点の推計値

資料) 九経調 DATASALAD

#### 4. 西九州新幹線開業の影響： 沿線・周辺市町村で宿泊稼働指数の上昇続く

9月23日に西九州新幹線の武雄温泉・長崎間が開業となったが、沿線・周辺市町村等の宿泊稼働指数を確認すると、沿線自治体（武雄市・嬉野市・大村市・諫早市・長崎市）、観光地となる周辺市町村（雲仙市・島原市など）では、11月も前月に引き続き、宿泊稼働指数の水準が高く、また2019年の同時期を上回っている。武雄市・嬉野市・大村市・諫早市・雲仙市・島原市では、11月の指数が90を上回るほか、宿泊施設の多い長崎市も90に迫っている。

表5 西九州新幹線沿線・周辺市町村等の宿泊稼働指数

	2019年 11月	2022年 9月	2022年 10月	2022年 11月
全国	59.4	51.6	65.1	73.7
武雄市	86.8	89.7	94.8	99.4
嬉野市	69.9	69.5	79.3	99.5
大村市	83.0	89.4	87.4	93.1
諫早市	81.6	83.5	83.0	90.2
長崎市	71.5	69.9	76.3	89.7
福岡市	62.6	47.3	56.9	76.5
佐賀市	67.6	70.8	68.4	89.9
佐世保市	60.5	70.1	79.9	89.8
雲仙市	62.9	76.4	81.9	90.9
島原市	65.6	83.5	88.5	90.4

注) 曜日要因による変動を取り除いた値の期間平均、2022年12月4日時点の推計値

資料) 九経調 DATASALAD

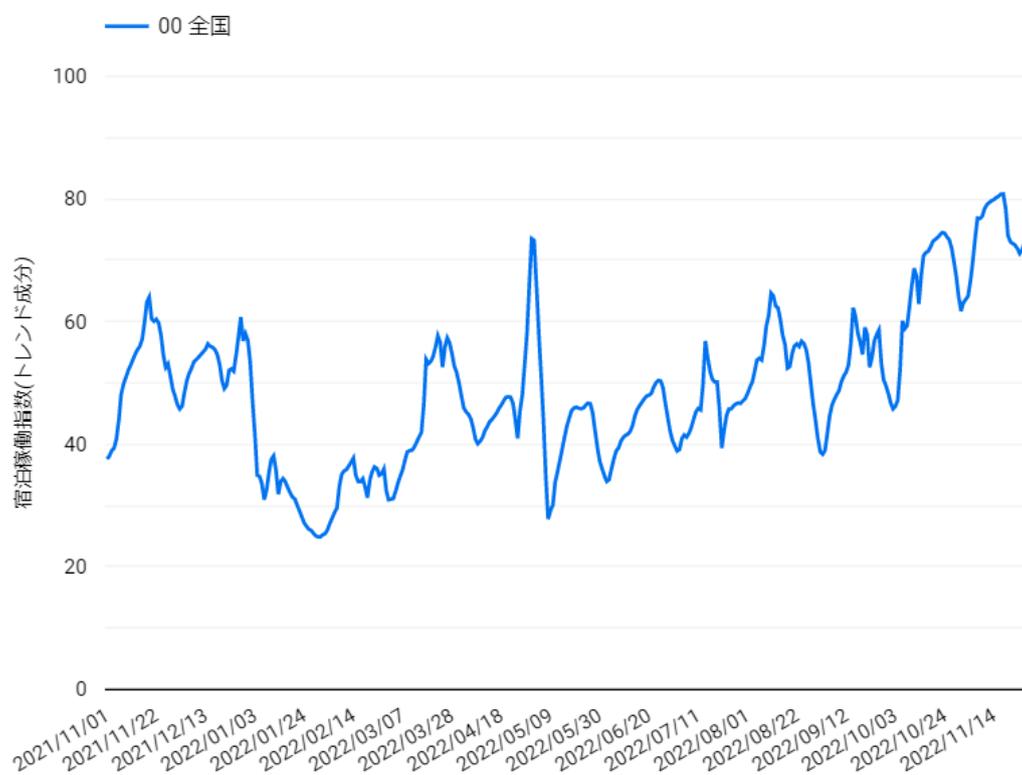
渡辺 隼矢（事業開発部 研究員）

E-mail: jwatanabe@kerc.or.jp

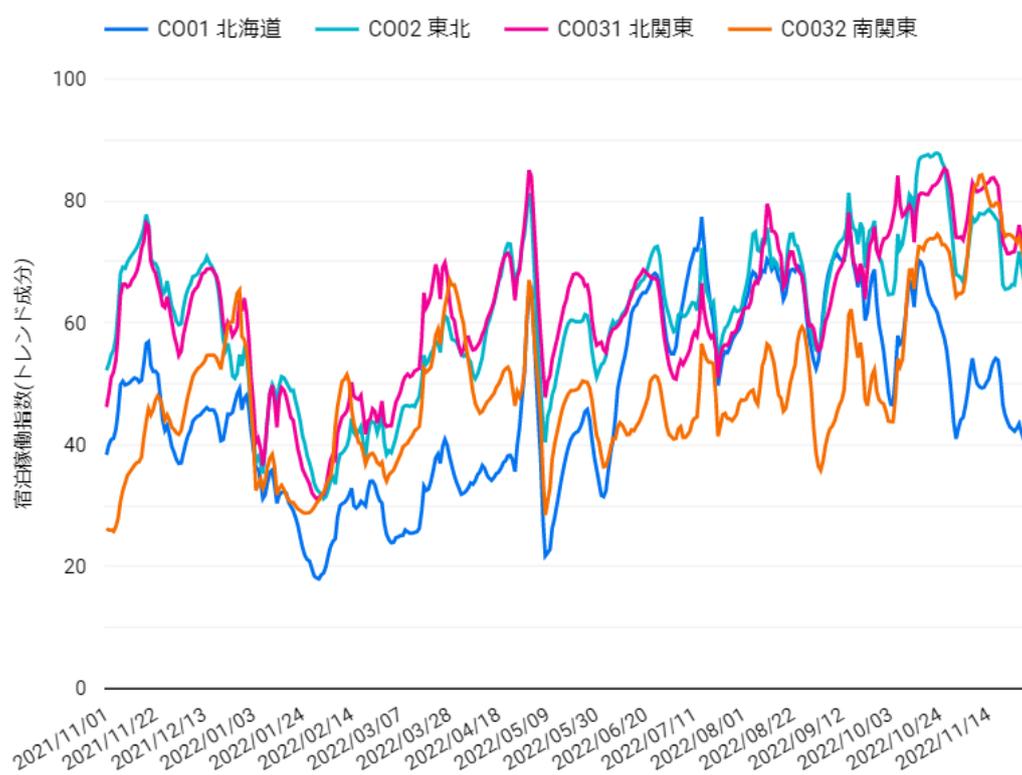
## 5. 参考：日次推移

図3 全国・地域ブロック別の日次推移（トレンド成分）

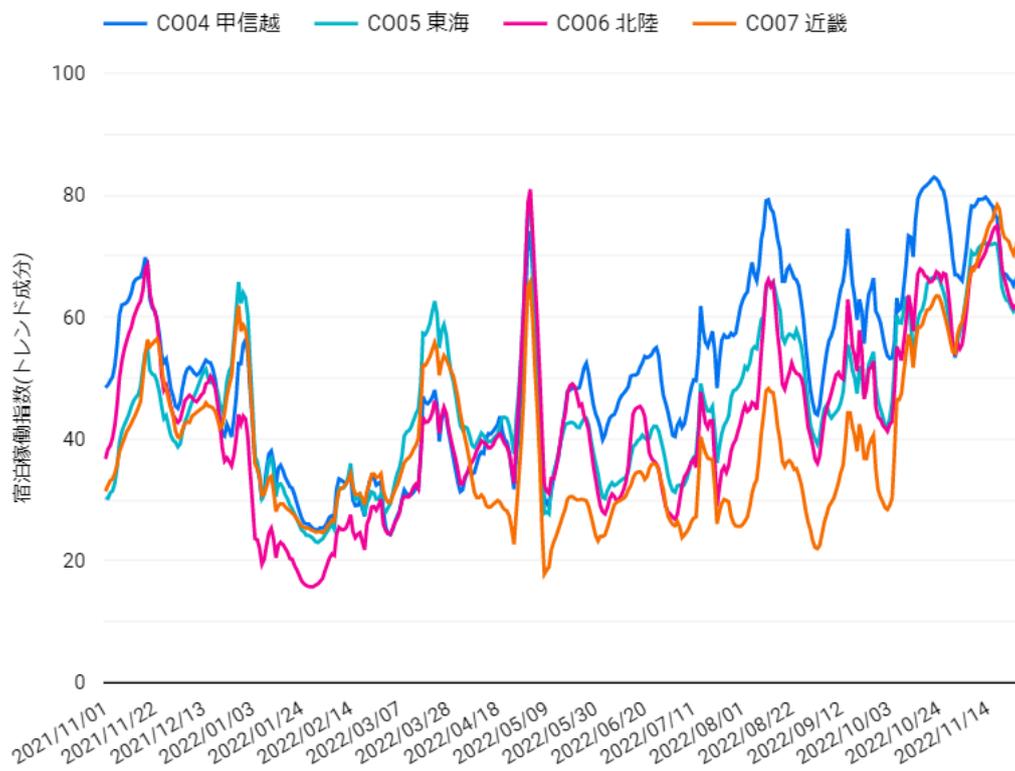
&lt;全国&gt;



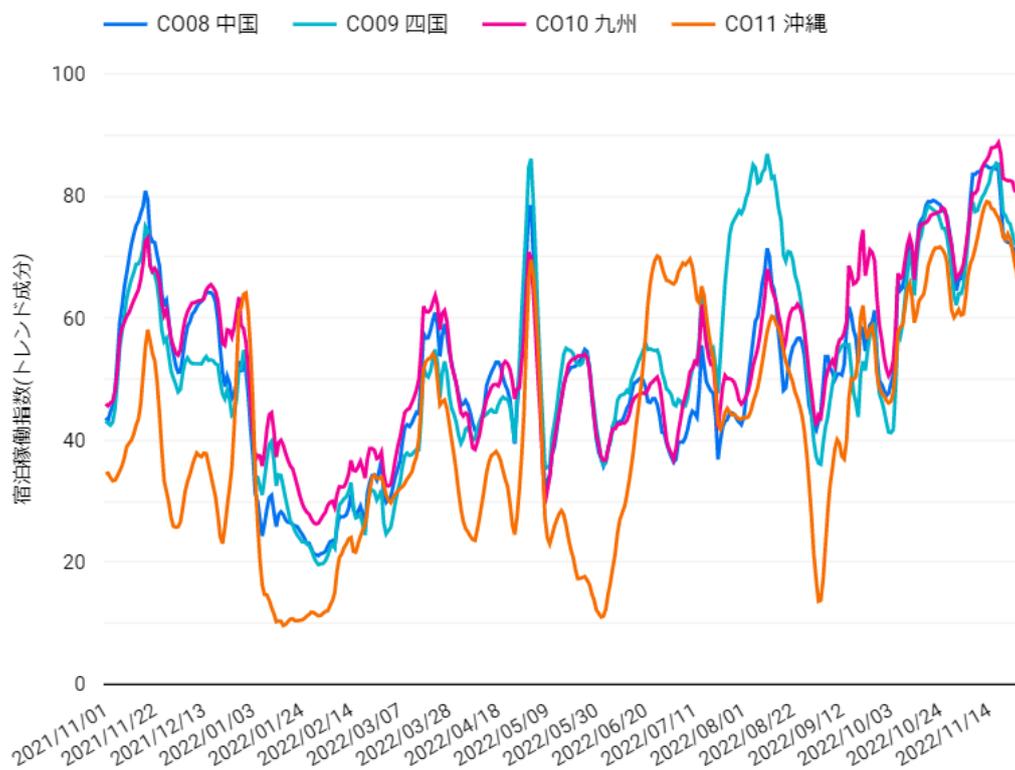
&lt;北海道～南関東&gt;



## &lt; 甲信越～近畿 &gt;



## &lt; 中国～沖縄 &gt;



注) 2022年12月4日時点の推計値 資料) 九経調 DATASALAD

## 参考資料

### 1. 宿泊稼働指数の算出方法

#### ■日次（原数値）

$$100 - \left( \frac{\text{当日の空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}}{\text{当日を含む過去 730 日の最大空室数} - \text{当日を含む過去 730 日の最小空室数}} \right) * 100$$

※当該地域において、宿泊施設が過去 365 日以上連続して立地・稼働していると判定される場合に限り算出

※空室情報の取得開始時期が 2017 年 7 月であるため、2018 年 7 月～2019 年 6 月については過去 365 日以上 730 日未満の最大・最小空室数より算出している

#### ■日次（トレンド成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因・イベント要因（イベント・その他の特殊要因）を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日分以上連続して算出可能に限り算出

#### ■日次（トレンド+イベント成分）

「日次（原数値）」を 7 日間周期のデータとみなして要因分解し、曜日要因を除いたもの

※「日次（原数値）」を 28 日分以上連続して算出可能に限り算出

#### ■月平均指数

「日次（トレンド+イベント成分）」を月ごとに単純平均したもの

※ある日のある地域において空室データが存在しない場合は、当日を含む前 14 日間かつ当日を含む後 14 日間において平均空室数が 0 より大きければ、当該地域において宿泊施設が連続して立地・稼働していると判定

※空室データの取得ができなかった日については、当日を含まない前 4 週間の同曜日の平均値により補間した上で要因分解を行っている

### 2. 緊急事態宣言発令に伴う対応

#### ■休業施設を除いた特別集計

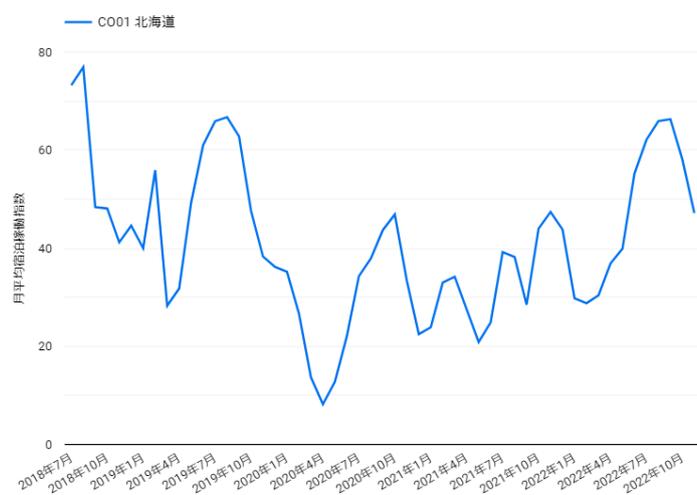
2020 年 4～5 月における緊急事態宣言の発令に伴い宿泊施設の休業がみられた。その影響がある 2020 年 4～6 月の宿泊稼働指数は、休業した宿泊施設を除くための処理を行って算出した。具体的には、2020 年 4 月に 20 日以上かつ 2020 年 5 月に 20 日以上空室が提供されている施設のみを対象に指数を算出した

#### ■特別集計との接続

2021 年 4 月以降に発表している宿泊稼働指数は、全サンプルによる集計（2018 年 7 月～2020 年 3 月および 2020 年 7 月～）と上述の特別集計（2020 年 4 月～2020 年 6 月）を接続したものである。原数値を接続した上で、曜日調整をおこなっている

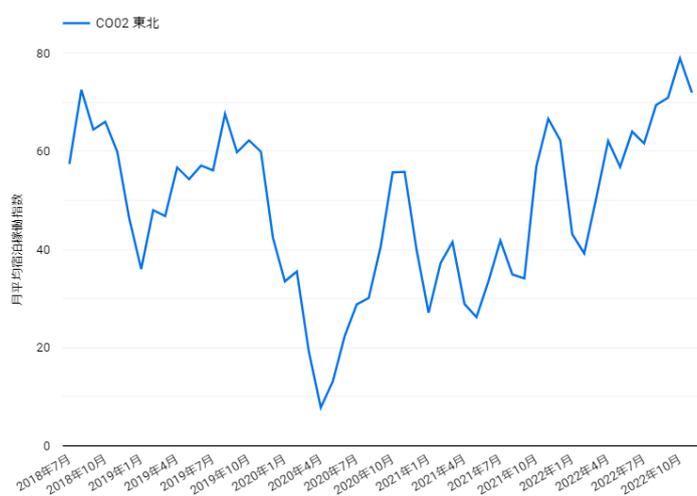
### 3. 地域ブロック別宿泊稼働指数の推移

<北海道>



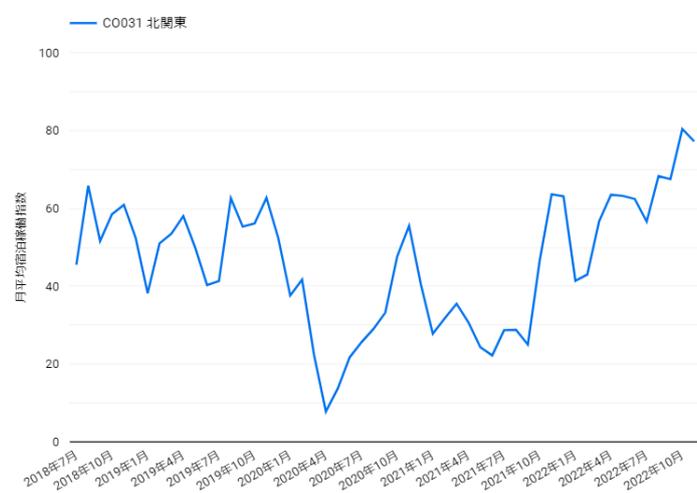
年月	地域	指数	前年差
2022年11月	CO01 北海道	47.2	-0.2
2022年10月	CO01 北海道	58.1	14.1
2022年9月	CO01 北海道	66.3	37.8
2022年8月	CO01 北海道	65.9	27.7
2022年7月	CO01 北海道	62.1	22.9
2022年6月	CO01 北海道	55.2	30.3
2022年5月	CO01 北海道	39.9	19.0
2022年4月	CO01 北海道	36.9	9.4
2022年3月	CO01 北海道	30.4	-3.8
2022年2月	CO01 北海道	28.8	-4.2
2022年1月	CO01 北海道	29.8	5.9
2021年12月	CO01 北海道	43.8	21.3
2021年11月	CO01 北海道	47.4	14.0
2021年10月	CO01 北海道	44.0	-2.9
2021年9月	CO01 北海道	28.5	-15.2
2021年8月	CO01 北海道	38.2	0.3

<東北>



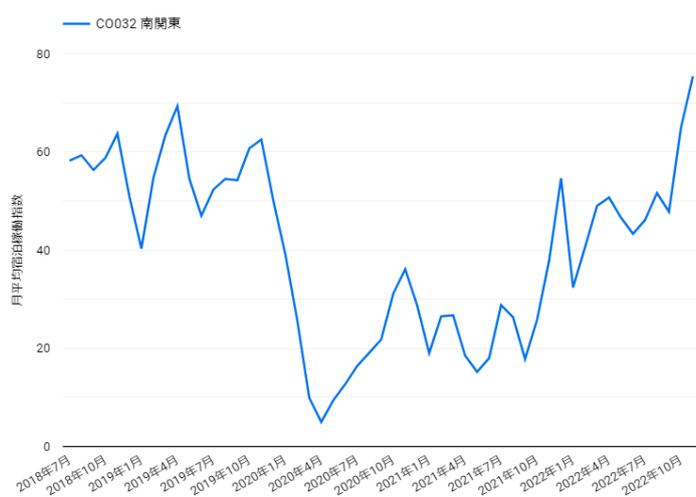
年月	地域	指数	前年差
2022年11月	CO02 東北	71.9	5.3
2022年10月	CO02 東北	78.9	22.0
2022年9月	CO02 東北	70.9	36.8
2022年8月	CO02 東北	69.4	34.5
2022年7月	CO02 東北	61.6	19.8
2022年6月	CO02 東北	64.0	30.5
2022年5月	CO02 東北	56.8	30.6
2022年4月	CO02 東北	62.1	33.2
2022年3月	CO02 東北	50.4	8.9
2022年2月	CO02 東北	39.2	2.0
2022年1月	CO02 東北	43.1	16.0
2021年12月	CO02 東北	62.2	22.3
2021年11月	CO02 東北	66.6	10.8
2021年10月	CO02 東北	56.9	1.2
2021年9月	CO02 東北	34.1	-6.5
2021年8月	CO02 東北	34.9	4.8

<北関東>



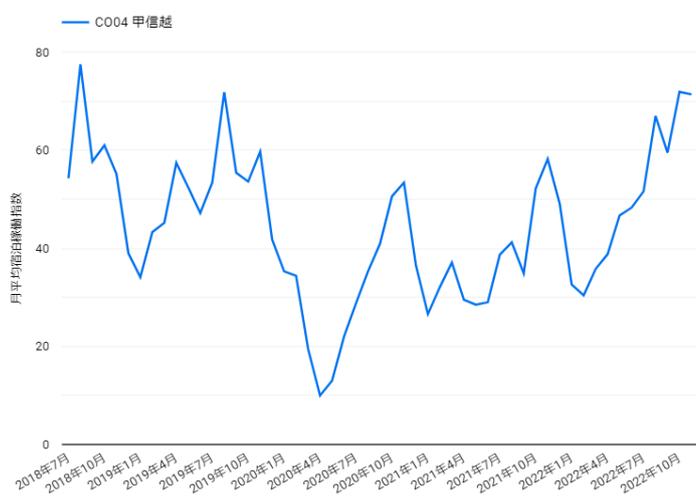
年月	地域	指数	前年差
2022年11月	CO031 北関東	77.2	13.6
2022年10月	CO031 北関東	80.4	33.8
2022年9月	CO031 北関東	67.5	42.5
2022年8月	CO031 北関東	68.3	39.5
2022年7月	CO031 北関東	56.6	27.9
2022年6月	CO031 北関東	62.4	40.2
2022年5月	CO031 北関東	63.2	38.9
2022年4月	CO031 北関東	63.5	32.8
2022年3月	CO031 北関東	56.7	21.2
2022年2月	CO031 北関東	43.0	11.3
2022年1月	CO031 北関東	41.4	13.6
2021年12月	CO031 北関東	63.1	22.7
2021年11月	CO031 北関東	63.6	8.1
2021年10月	CO031 北関東	46.6	-1.0
2021年9月	CO031 北関東	25.0	-8.2
2021年8月	CO031 北関東	28.8	-0.2

## &lt; 南関東 &gt;



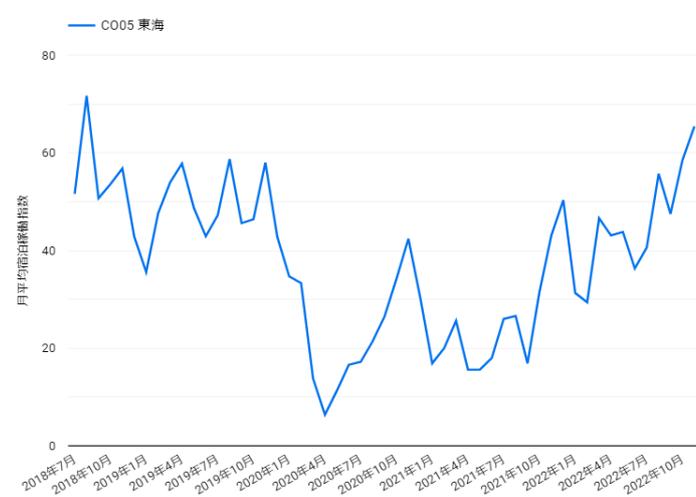
年月	地域	指数	前年差
2022年11月	C0032 南関東	75.4	37.6
2022年10月	C0032 南関東	64.9	39.1
2022年9月	C0032 南関東	47.8	30.0
2022年8月	C0032 南関東	51.6	25.3
2022年7月	C0032 南関東	46.1	17.3
2022年6月	C0032 南関東	43.3	25.3
2022年5月	C0032 南関東	46.6	31.4
2022年4月	C0032 南関東	50.7	32.2
2022年3月	C0032 南関東	49.0	22.3
2022年2月	C0032 南関東	40.6	14.1
2022年1月	C0032 南関東	32.4	13.4
2021年12月	C0032 南関東	54.6	25.9
2021年11月	C0032 南関東	37.8	1.7
2021年10月	C0032 南関東	25.8	-5.3
2021年9月	C0032 南関東	17.8	-4.0
2021年8月	C0032 南関東	26.3	7.2

## &lt; 甲信越 &gt;



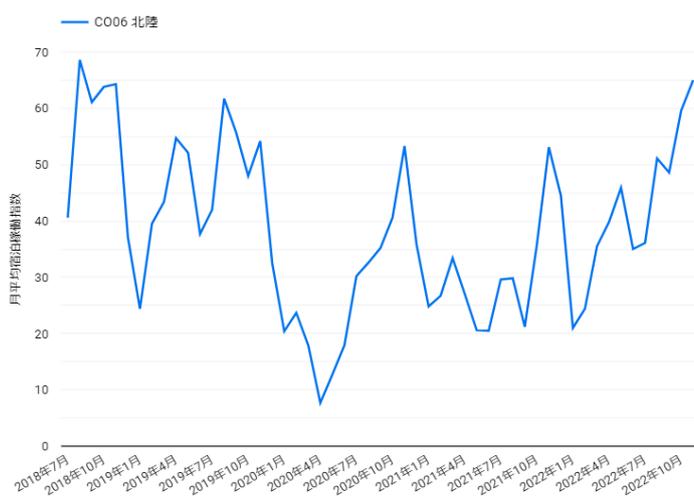
年月	地域	指数	前年差
2022年11月	C004 甲信越	71.4	13.2
2022年10月	C004 甲信越	71.9	19.7
2022年9月	C004 甲信越	59.5	24.6
2022年8月	C004 甲信越	67.0	25.8
2022年7月	C004 甲信越	51.6	12.9
2022年6月	C004 甲信越	48.3	19.3
2022年5月	C004 甲信越	46.7	18.2
2022年4月	C004 甲信越	38.8	9.3
2022年3月	C004 甲信越	35.8	-1.3
2022年2月	C004 甲信越	30.4	-1.7
2022年1月	C004 甲信越	32.6	6.0
2021年12月	C004 甲信越	49.1	12.6
2021年11月	C004 甲信越	58.2	4.8
2021年10月	C004 甲信越	52.2	1.6
2021年9月	C004 甲信越	34.9	-6.0
2021年8月	C004 甲信越	41.2	5.9

## &lt; 東海 &gt;



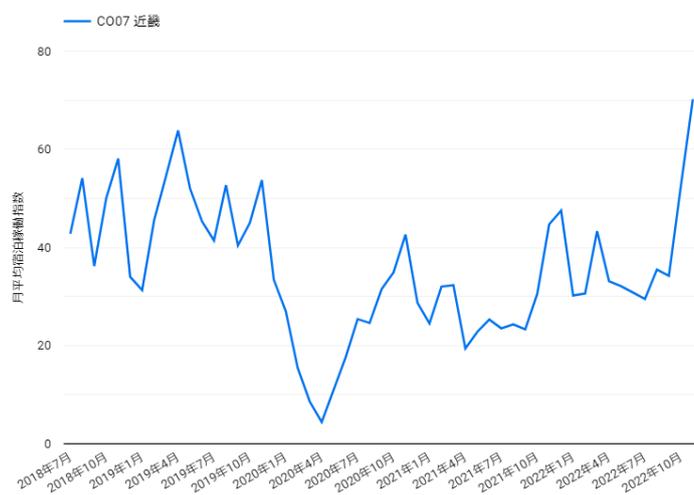
年月	地域	指数	前年差
2022年11月	C005 東海	65.4	22.3
2022年10月	C005 東海	58.5	27.0
2022年9月	C005 東海	47.5	30.6
2022年8月	C005 東海	55.7	29.1
2022年7月	C005 東海	40.6	14.6
2022年6月	C005 東海	36.3	18.3
2022年5月	C005 東海	43.8	28.2
2022年4月	C005 東海	43.1	27.5
2022年3月	C005 東海	46.6	21.0
2022年2月	C005 東海	29.4	9.4
2022年1月	C005 東海	31.3	14.4
2021年12月	C005 東海	50.3	20.0
2021年11月	C005 東海	43.1	0.7
2021年10月	C005 東海	31.5	-2.7
2021年9月	C005 東海	16.9	-9.6
2021年8月	C005 東海	26.6	5.2

## &lt; 北陸 &gt;



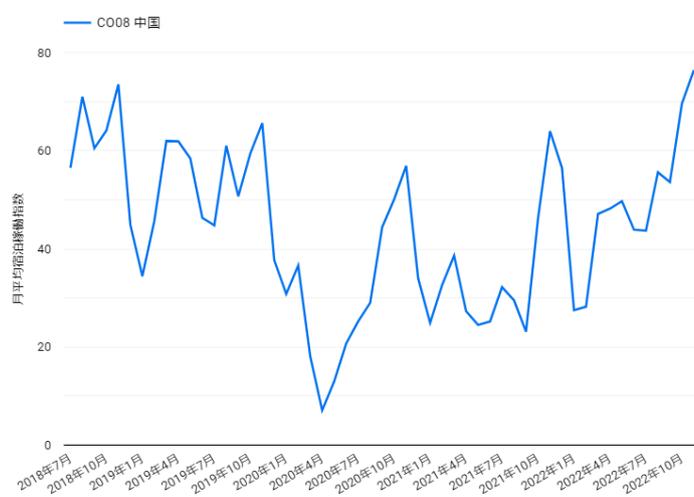
年月	地域	指数	前年差
2022年11月	CO06 北陸	65.0	11.9
2022年10月	CO06 北陸	59.6	23.9
2022年9月	CO06 北陸	48.6	27.4
2022年8月	CO06 北陸	51.1	21.3
2022年7月	CO06 北陸	36.1	6.5
2022年6月	CO06 北陸	35.0	14.5
2022年5月	CO06 北陸	45.9	25.3
2022年4月	CO06 北陸	39.8	12.7
2022年3月	CO06 北陸	35.5	2.1
2022年2月	CO06 北陸	24.4	-2.3
2022年1月	CO06 北陸	21.0	-3.8
2021年12月	CO06 北陸	44.5	8.7
2021年11月	CO06 北陸	53.1	-0.2
2021年10月	CO06 北陸	35.7	-4.9
2021年9月	CO06 北陸	21.2	-14.0
2021年8月	CO06 北陸	29.8	-2.8

## &lt; 近畿 &gt;



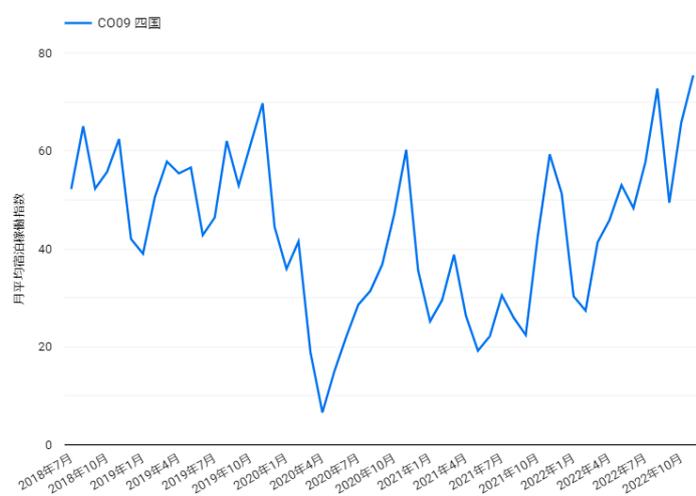
年月	地域	指数	前年差
2022年11月	CO07 近畿	70.2	25.5
2022年10月	CO07 近畿	52.5	22.0
2022年9月	CO07 近畿	34.2	10.9
2022年8月	CO07 近畿	35.5	11.2
2022年7月	CO07 近畿	29.5	6.0
2022年6月	CO07 近畿	30.8	5.5
2022年5月	CO07 近畿	32.1	9.3
2022年4月	CO07 近畿	33.1	13.7
2022年3月	CO07 近畿	43.3	11.0
2022年2月	CO07 近畿	30.6	-1.4
2022年1月	CO07 近畿	30.2	5.7
2021年12月	CO07 近畿	47.5	18.8
2021年11月	CO07 近畿	44.7	2.1
2021年10月	CO07 近畿	30.5	-4.4
2021年9月	CO07 近畿	23.3	-8.2
2021年8月	CO07 近畿	24.3	-0.3

## &lt; 中国 &gt;



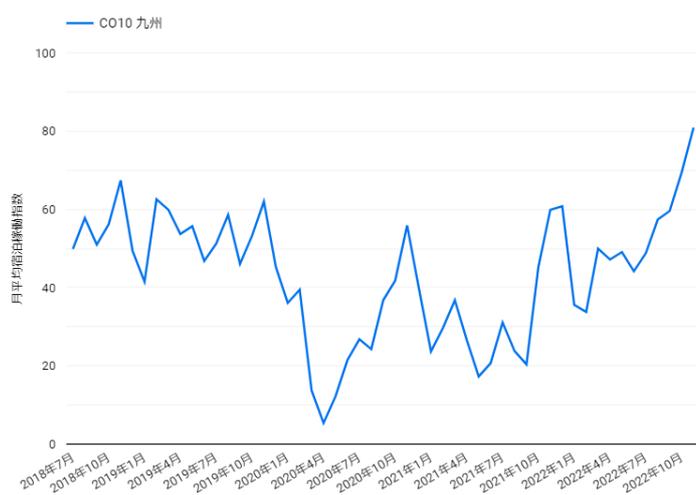
年月	地域	指数	前年差
2022年11月	CO08 中国	76.4	12.4
2022年10月	CO08 中国	69.6	23.4
2022年9月	CO08 中国	53.6	30.5
2022年8月	CO08 中国	55.6	26.1
2022年7月	CO08 中国	43.7	11.5
2022年6月	CO08 中国	43.9	18.7
2022年5月	CO08 中国	49.7	25.2
2022年4月	CO08 中国	48.2	20.9
2022年3月	CO08 中国	47.1	8.5
2022年2月	CO08 中国	28.2	-4.4
2022年1月	CO08 中国	27.5	2.6
2021年12月	CO08 中国	56.5	22.5
2021年11月	CO08 中国	64.0	7.1
2021年10月	CO08 中国	46.2	-3.9
2021年9月	CO08 中国	23.1	-21.3
2021年8月	CO08 中国	29.5	0.5

## &lt; 四国 &gt;



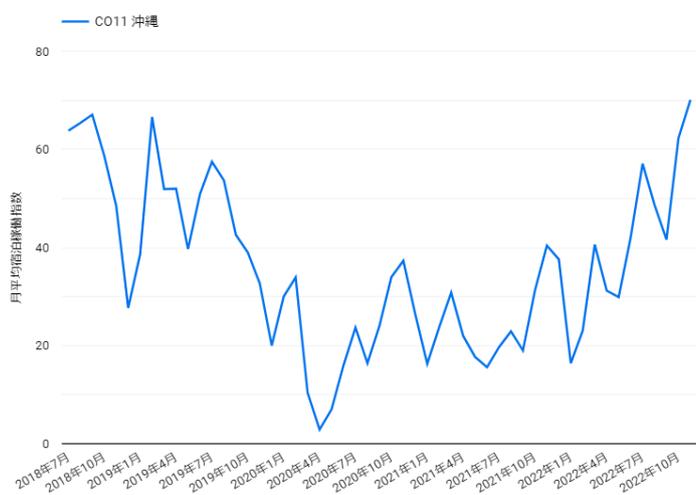
年月	地域	指数	前年差
2022年11月	CO09 四国	75.4	16.1
2022年10月	CO09 四国	65.8	23.3
2022年9月	CO09 四国	49.4	27.0
2022年8月	CO09 四国	72.7	46.8
2022年7月	CO09 四国	57.7	27.2
2022年6月	CO09 四国	48.3	26.1
2022年5月	CO09 四国	53.0	33.8
2022年4月	CO09 四国	45.9	19.6
2022年3月	CO09 四国	41.3	2.5
2022年2月	CO09 四国	27.4	-2.1
2022年1月	CO09 四国	30.3	5.1
2021年12月	CO09 四国	51.3	15.7
2021年11月	CO09 四国	59.3	-0.9
2021年10月	CO09 四国	42.5	-4.6
2021年9月	CO09 四国	22.4	-14.4
2021年8月	CO09 四国	25.9	-5.5

## &lt; 九州 &gt;



年月	地域	指数	前年差
2022年11月	CO10 九州	80.9	21.0
2022年10月	CO10 九州	69.4	24.1
2022年9月	CO10 九州	59.6	39.2
2022年8月	CO10 九州	57.4	33.6
2022年7月	CO10 九州	48.8	17.7
2022年6月	CO10 九州	44.2	23.5
2022年5月	CO10 九州	49.1	31.8
2022年4月	CO10 九州	47.2	20.6
2022年3月	CO10 九州	50.0	13.2
2022年2月	CO10 九州	33.8	4.1
2022年1月	CO10 九州	35.6	11.9
2021年12月	CO10 九州	60.8	21.2
2021年11月	CO10 九州	59.9	4.0
2021年10月	CO10 九州	45.3	3.5
2021年9月	CO10 九州	20.4	-16.4
2021年8月	CO10 九州	23.8	-0.5

## &lt; 沖縄 &gt;



年月	地域	指数	前年差
2022年11月	CO11 沖縄	70.1	29.7
2022年10月	CO11 沖縄	62.3	31.1
2022年9月	CO11 沖縄	41.6	22.6
2022年8月	CO11 沖縄	48.7	25.8
2022年7月	CO11 沖縄	57.1	37.4
2022年6月	CO11 沖縄	42.0	26.4
2022年5月	CO11 沖縄	29.9	12.2
2022年4月	CO11 沖縄	31.2	9.2
2022年3月	CO11 沖縄	40.6	9.8
2022年2月	CO11 沖縄	23.1	-0.7
2022年1月	CO11 沖縄	16.4	0.1
2021年12月	CO11 沖縄	37.6	11.2
2021年11月	CO11 沖縄	40.4	3.1
2021年10月	CO11 沖縄	31.2	-2.8
2021年9月	CO11 沖縄	19.0	-5.0
2021年8月	CO11 沖縄	22.9	6.5